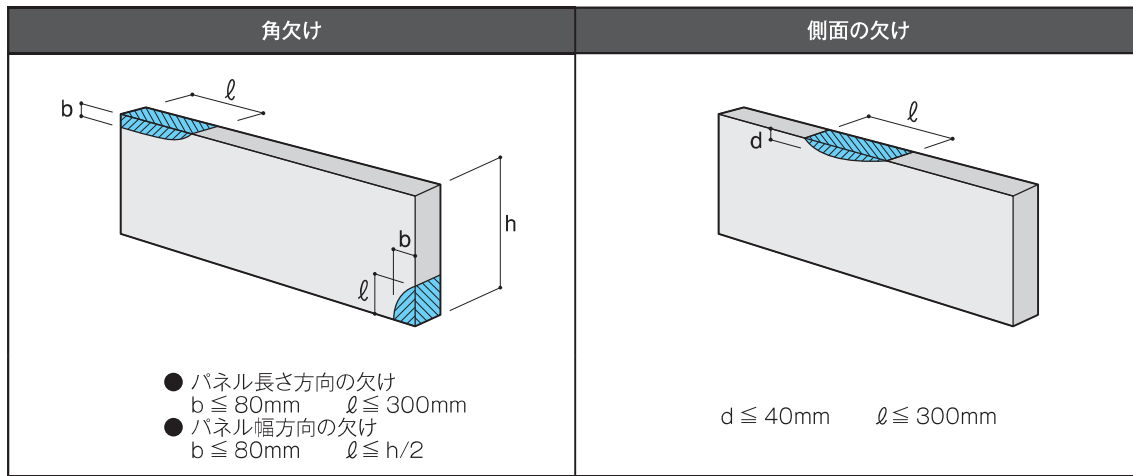


③ 共通 大きな欠損パネルは使用しない

鉄筋が露出した欠けやパネル長辺や短辺全長の割れなどパネル強度に影響する欠損パネルは使用できません。補修して使用できる欠損の目安を下記に示します。

パネルの補修限界（補修して使用できる欠損部分の大きさの目安）



④ 共通 パネル補修はプライマー塗布後に専用補修材を使用する

パネルの欠け、座掘りなどの補修は、補修要領に準じて行われています。▶[図5](#) ▶[図6](#)

● 補修要領

- 1) パネルの補修箇所は清掃し、モルタル接着増強剤（AK補修用シーラー）を塗布してください。
- 2) 補修材はヘーベル専用補修材（サンモルC）を使用してください。
- 3) パネル建込み後補修する場合には、補修後のひび割れ防止のため、隣接パネルと接着しないように縁を切ってください。

図5 パネル補修の工程

- ① 損傷箇所とその周辺に刷毛またはスプレーでAK補修用シーラーを塗布する
- ② AK補修用シーラー乾燥後薄く下塗り(3~5mm)し、上塗り(5~10mm)を盛上げる
- ③ 硬化直前に仕上げする

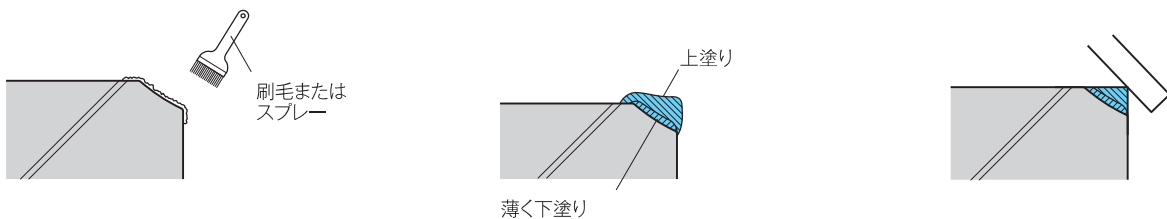


図6 建込み後の補修の注意点

- ① 隣接パネルと接続しないように、コテなどでパネル同士の縁を切る
- ② パネル1枚ごとに定規板をあてがって正確に補修する

